



YANMAR GREEN CHALLENGE 2050

「YANMAR GREEN CHALLENGE 2050」は、
ヤンマーが、「A SUSTAINABLE FUTURE」の実現に寄与する企業として
ふさわしくあり続けるために、まずは、自らが「循環する資源をもとにした
環境負荷フリー・GHGフリーの企業になる」こと、そして、「A SUSTAINABLE FUTURE」の
実現に向けた活動をより一層強化することを宣言するものです。
「YANMAR GREEN CHALLENGE 2050」で3つの課題に挑戦します。

3つのCHALLENGE

CHALLENGE 1

GHG排出量ゼロの企業活動を実現する



Scope 1 & 2

企業活動によるGHG排出量ゼロ※1



Scope 3-1 & 3-2A

サプライチェーンのGHG排出量ゼロ※2



Scope 3-2B

販売した製品使用時のGHG排出量ゼロ※3

※1: 2030年までにカーボンニュートラル化 ※2: サプライチェーン全体でのカーボンニュートラル化 ※3: 全てのプロダクトを、多様なグリーンエネルギーに対応できるようにすること

CHALLENGE 2

循環する資源をもとにした環境
負荷フリーの企業活動を実現する



Theme 1

リサイクル・有価物化できない廃棄物ゼロ



Theme 2

製品にまつわるサーキュラーエコノミーの実現



Theme 3

新規取水量の最小化



Theme 4

環境負荷物質の使用と排出を最小化

CHALLENGE 3

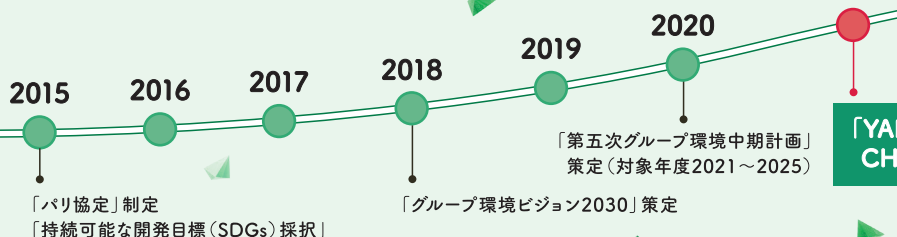
お客様のGHG排出ゼロ・
資源循環化に貢献する



GHGネガティブ・

資源循環化に貢献する
ソリューションを提供

2050年までの目標設定



YANMAR
GREEN
CHALLENGE
2050

2050





1 営農型太陽光発電（ソーラージェアリング）

農地の地上部を活用した発電所。農業×エネルギーという新たな価値を提供します

営農型太陽光発電とは、農地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電設備を設置し、太陽光を農業生産と発電とで共有する取組です。

2 バイオ炭製造装置

処理に課題があったもみ殻からバイオ炭を製造。土壌改良・CO₂固定を実現
もみ殻の処理の際に発生するもみ殻の処理が課題でした。そのもみ殻からバイオ炭を製造し、農地で再利用することで、土壌改良に加えて、農地へのCO₂固定化ができ、CO₂の削減に貢献します。

3 バイオコンポスター

食品廃棄物を菌の力で分解処理し土壌改良材として再利用。
資源循環に貢献

生活の中から出てくる生ごみなどの食品廃棄物を菌の力を最大限に活用して効率的に処理します。廃棄物の削減に加えて、残った生成物は堆肥として農地で使われることで資源循環を実現します。

4 バイオマス発電システム

これまで捨てられていた葉や茎、下水処理場の消化ガスからエネルギーを生み出す

剪定された枝葉などをバイオ発酵させることで発生したメタンガスを使用したコージェネレーションシステムにより、捨てられていたものから電気や熱を生み出すエコな発電システムです。

5 グリーンファクトリー

再生可能エネルギーを活用したCO₂排出フリー工場の実現

太陽光や水素など再生可能エネルギーやバッテリーなどを活用することで、工場稼働時のCO₂排出の実質ゼロを目指します。

6 ゼロエミッションビル

再生可能エネルギーを最適制御し、快適かつCO₂排出フリーな住環境を実現

太陽光発電システムやバイオガスコージェネレーションシステムなど、再生可能エネルギーやエネルギーマネジメントシステムを最大限に活用し、環境負荷フリーでありながら快適に生活のできる環境を目指します。

7 電動農機

電気の力で動く農業機械。農業の現場から脱炭素を推進

大型のバッテリーとハイパワーなモーターを搭載した農業機械。自動運転技術などとも相性が良く、効率化や環境負荷低減を支援します。

8 電動建機

電気の力で動く建設機械。都市の開発からも脱炭素を実現

大型のバッテリーとハイパワーなモーターを搭載した建設機械。遠隔操作技術などとも相性が良く、工事現場での効率化や環境負荷低減を支援します。

9 スマート農業・建設

自動運転・遠隔操作など人材不足などにも対応した効率的な運用を支援
自動運転や遠隔操作などを活用し、少人数で多数の機器を稼働させたり、熟練者などが遠隔地から技術支援をしたりすることで、これまで以上の成果を生み出します。

10 水素燃料船

水素燃料電池や水素エンジンを搭載した海の脱炭素

水素を燃料とした燃料電池システムやエンジンなど化石燃料に頼らない技術で海からも脱炭素社会の実現に貢献します。

11 水素燃料電池発電システム

排出されるのは水。CO₂を排出しない発電装置

天候に左右されやすい太陽光発電などを補完して、再生可能エネルギーの安定供給を支援します。水素燃料発電システムから排出されるのは水のみであり、環境に負荷をかけません。